

本調子

上り口説（ぬぶいくどうち）

本調子

2/2

一、旅ぬ出立（いんじたち）

観音堂（くあんぬんどー）

千手観音（しんていくあんぬん）

伏拝（ふしうが）でい

黄金酌取（くがにしゃくどう）てい

立別（たちわか）る

二、袖（すでい）に降る

露押払（ついゆうしはら）い

大道松原（うふどーまついばら）

歩み行（ゆ）く 行けば（ゆきば）

八幡崇元寺（はちまんすーぎーじ）

三、見栄地高疋（みーじたかはし）

打渡（うちわた）てい

袖（すでい）を連（ついら）にてい

諸人（むるふいと）ぬ

行（ゆく）も帰（かい）るも中ぬ橋

四、沖（うち）ぬ側迄（すばまでい）

親子兄弟（うやくちようでい）

連（つい）りてい 別ゆる

旅衣（たびぐるむ）袖（すでい）と

袖（すでい）とに 露（ついゆ）涙

五、船（ふに）ぬどうむ綱（じな）

とうくどうくとう 舟子（ふなく）

勇みて真帆（まふ）引（ふい）きば

風（かじ）やまとうむに

午末（んまふいついじ）

六、又ん廻り逢（お）ーご縁とうてい

招（まに）く扇（おうぢ）や

三重城（みーぐすく）

残波岬（みさち）ん

後（あとう）に見てい

伊平屋（いひやや）渡（どう）立つ

波うし添（す）いてい

道ぬ島々 見渡しば

七島（しちとう）

渡（とう）中ん なだやすいく

燃る煙（ちむり）は

硫黄島（ゆおがしま）

佐多ぬ岬に

走並（はいなら）でい エイ

ありに見ゆるは御開門（うかいむん

富士に見紛（みまご）う櫻島